

ICT支援員だより

平成28年度 第6号

平成29年1月6日 発行



過去の「ICT支援員だより」は次のURLに掲載しています。<http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/kyouiku/y124/s575/>

あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

今年度もあと3ヶ月となりましたが、少しでも先生方のお役に立つような情報が提供できるように頑張りますので、よろしく願いいたします。

昨年のことになりますが、平成28年11月16日に向原中学校で教育研究会がありました。公開授業が行われ、市内の学校の先生方、地域の方々が多く参観されていました。

この公開授業のうち、3年生の数学科の授業におけるICTの活用を紹介します。



ICT活用モデル校 向原中学校の実践例

- 日時 平成28年11月16日（水）
- 单元名 相似な図形
- 本時の目標 相似な三角形を見つけ、その性質を利用して長さを求めることができる。

○活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

活用したもの	活用のねらい（だれが・何のために・どのように活用するか）
タブレット PC (STUDYNET)	生徒が既習事項を確認するために、ドリル学習をする。また、教師が既習事項の定着状況を知り、今後の指導に活かすために、現在の学習状況をまとめる。
ノート PC (PowerPoint)	教師が、生徒に本時の課題を提示するために、事前にパワーポイントで内容をまとめたものを、電子黒板に映し出す。
タブレット PC (STUDYNET)	生徒が課題を解くために、タブレットに表示された図形に解き方を書きこみ、教師用 PC に送信する。 教師が、送信されたデータを電子黒板に映し出し、全体に紹介する。

○本時の学習展開（主な学習活動）

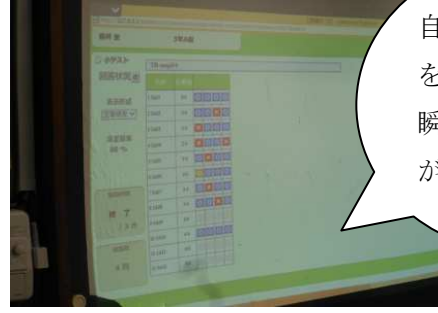
学習の流れ	主な学習活動	ICT機器・教材，コンテンツ等
導入	1 小テストで復習を行う。	タブレット PC、ノート PC、電子黒板
展開	2 情報の提示 3 課題に取り組む 4 適応題に取り組む	ノート PC、パワーポイント、電子黒板 タブレット PC
まとめ	5 まとめを行う	



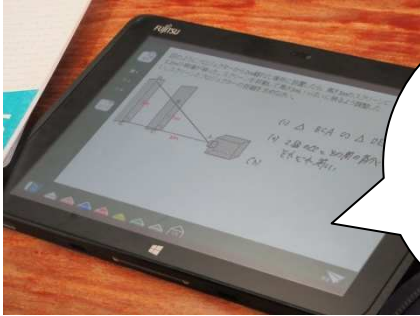
○授業の様子



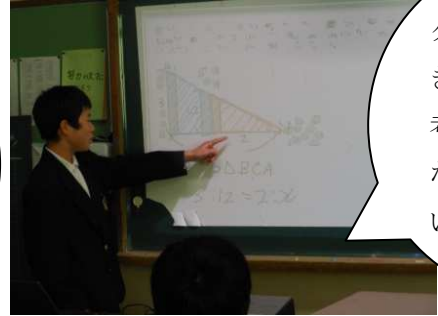
小テストは書き問題だと全部解くことが難しいので、答えを選択する問題にしています。



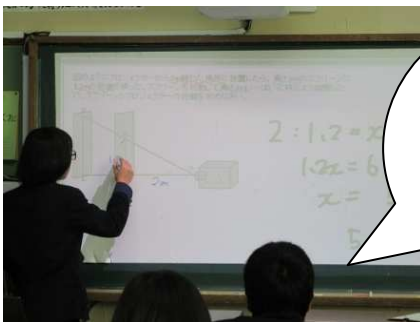
自分がどの問題を間違ったかを瞬時に知ることができます。



問題の図に数値や言葉を書き込みながら解いていきます。



タブレットに書き込んだ自分の考えを指し示しながら説明しています。



足りないところを書き加えたりしながら説明しています。



書いていることをさらに詳しく説明しています。

習熟度別に分けて授業をされていたので1人1台タブレットを使用することができていました。

タブレットはシャープのSTUDYNETという授業支援ソフトが使われていました。このソフトを使うことで小テストや問題の図などを生徒のタブレットに送り、生徒は書き込んだら先生のパソコンに送るというやりとりをすることができます。また、生徒個人やグループの考えを電子黒板に拡大提示し、全員で考えを共有することができます。

タブレットがない場合は、子どもが書いたノートやワークシート、ホワイトボードなどを実物投影機で拡大提示することで今回と同じような授業を行うことが可能です。また、実物投影機がない時は、デジタルカメラで代用して映すことも可能です。今あるICT機器で、できることを授業で取り入れてみてください。

◎安芸高田市のICTモデル校である向原小学校と向原中学校は、小中連携をしながら研修をされています。

今年は研究主題に「主体的・協働的な学びの創造～ICT活用と言語活動の充実を通して～」を掲げ研修に取り組まれています。

1月31日(火)に向原小学校の公開研究会がありますので、ぜひ参加してICTの有効活用について研修していただければと思います！

【研究会の予定】 平成29年1月31日(火) 向原小学校公開研究会



次号は2月に発行します。次号では、電子黒板の活用について紹介していきたいと思います。

